

# 2022年度 法人事業方針

社会福祉法人露の会 法人本部

## 1. 新施設開設の検討

ひのき工房は開設以来、町会の集団回収を引き受けたり、小学校の木工授業の手伝、小中学校の花壇の草取り、更には子供食堂の企画、立上げ、運営に参加し、地域社会との関わりを深めてきました。

更に、2年前から始めた“お助け隊”で、高齢者世帯の方などからとても喜んでいただき口コミで広がっています。

地域住民の方々などから、役立ち喜んでもらえる仕事を中心に据えた障がいを持つ人たちの働く職場を創ることは、素晴らしいことです。

今年1年ひのき工房を中心に検討を進めます。

## 2. 各施設運営のみなおしと確立

- ①ふきのとうは、生活介護一本化を準備すること。
- ②ひのき工房は、リサイクルやお助け隊、野菜作りなど外作業を中心とした新施設を検討すること。
- ③ぽぷら八王子は、利用者の定員までの採用定着と型替要員の確保・養成で安定した運営を確立すること。
- ④とぶきふねんは、独立した事業所としての運営を確立すること。

## 3. 労働条件の改善

- ①職員は、今まで毎年平均2%以上の改善を行ってきましたが、全く不十分です。  
今年、国の臨時交付金等も使い平均で3%以上の改善を実施します。
- ②一般就労や就労継続支援A型のメンバーで、勤務や作業レベルの安定した方から順次最低賃金より50円以上アップし、健常者と比べても“同一労働同一賃金”と言えるようにします。
- ③就労継続支援B型の皆さんも作業の質・量に応じて工賃が向上するよう努めます。

## 4. 人材育成

- ①引き続き、法人研修を充実させ、支援レベルアップを計ります。
- ②現場を担う施設長、主任、リーダーの課題をわかりやすく提示し、その育成に努めます。

## 5. 本部の取組み

- ①中堅職員の人材確保と育成
- ②採用、教育等、人材育成のための資金確保
- ③同一労働同一賃金のための有期・無期フルタイム、短期時間勤務者も含めたステージ表と賃金表の作成
- ④とぶきふねん、ひのき工房の会計担当者の育成
- ⑤OJT報告会の定着で、職員育成の文化醸成